

P44 すべての道路利用者が安全・安心かつ円滑に移動できる環境づくり(防災・安全)

計画概要

◆計画期間 平成 24 年度 ~ 平成 28 年度

◆計画の目標

東海市道は、幹線道路と一体となって地域に密着した道路網を形成し、地域の連携や振興に大きく貢献する役割を担っている。しかし、歩道設置等の安全対策や、道路設備等の老朽化に対する対応はまだまだ十分な状況では無く、道路設備の整備は緊急の課題となっている。このため、【安全】「歩行者、自転車の安全確保のための自歩道設置を中心とした交通安全施設整備の推進」・【安心】「災害に対して安心して利用できる快適な道路の整備」・【維持】「老朽化した道路を修繕して安全で安心して通行できる道路の維持」を、関連するソフト事業等を組み合わせて行うことにより、地域の特性に即した安全で快適な生活道路の整備を目指す。

◆計画の成果目標(定量的指標)

- 指標①:【安全】市道において歩道設置が十分だと思っている人の増加
- 指標②:【安心】市道における橋梁耐震率の増加
- 指標③:【維持】老朽化した市道の修繕率の増加

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 道路事業	237百万円	(1)平子7号線の舗装修繕の完了。大池北線、上野台本通り線の舗装修繕の一部完了 (2)樋橋の耐震補強整備の完了 (3)宮川横断歩道橋の修繕の完了 (4)新屋敷3号線の歩道整備の完了 渡内川右岸4号線始め5路線の自転車歩行者分離整備の一部完了 (5)道路ストック総点検の完了 ※残路線については早期整備完了を目指す	11%
B 関連社会資本整備事業	- 百万円		- %
C 効果促進事業	- 百万円		- %
合 計	237百万円		

※事業費は実績額

※進捗率(%)は各事業の計画に対する実施割合【事業費ベース】

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 (別紙1)

別紙1参照

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(【安全】歩道の設置が不十分だと思う人の割合)

平成21年度に実施したアンケート結果、71%を基準値にしている(東海市まちづくり市民委員会資料)
(「歩道の設置が不十分だと思う人」/アンケート回答数)

中間目標値

65.0%

目標値と実績
値に差が出た
要因等

新屋敷3号線の歩道整備及び渡内川右岸4号線始め5路線の一部などが進んだため、目標通りの市民満足を得ることができた。

中間実績値

64.2%

指標②(【安心】地震発生時のライフラインを確保するための安全対策の割合)

平成21年度の橋梁耐震率の27%を基準値としている
(必要な耐震対策済橋梁等(落橋防止)/緊急輸送路及び主要道路に係る橋梁等41箇所)

中間目標値

34.0%

目標値と実績
値に差が出た
要因等

市の全体事業の中で優先度が見直され、橋梁の落橋防止による耐震対策が予定通り進んでいないため。
対策済橋梁数/全体橋梁数 13橋/41橋

中間実績値

31.7%

指標③(【維持】修繕の緊急度の高い市道の修繕実施路線の割合)

平成24年度「道路維持修繕計画」における道路修繕の緊急度の高い7路線の修繕実施路線を基準としている
(緊急に修繕が必要な路線の修繕実施路線数/緊急に修繕が必要な路線7路線)

中間目標値

60.0%

目標値と実績
値に差が出た
要因等

市の全体事業の中で優先度が見直され、修繕計画に基づく舗装修繕が予定通り進んでいないため。
修繕済路線数/修繕予定路線数 1路線/7路線

中間実績値

20.0%

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)

- ・緊急輸送道路に架かる橋梁の橋脚について耐震補強を実施し、大地震等の災害時に利用可能な路線を確保した。

◆今後の方針

指標①(【安全】歩道の設置が不十分だと思ふ人の割合)

・残事業箇所において、事業進捗を図り、歩道設置等による交通安全整備を進め、歩行者等が安全に通行できる道路を確保する。

指標②(【安心】地震発生時のライフラインを確保するための安全対策の割合)

・緊急輸送道路に架かる橋梁の橋脚部の耐震補強を優先に進めると共に、落橋防止対策についても予算の確保に努め、順次橋梁の耐震化を行うことで、地震時のライフラインを確保する。

指標③(【維持】修繕の緊急度の高い市道の修繕実施路線の割合)

・整備計画に沿った予算の確保に努め、順次舗装修繕を行い、安全で快適な生活道路の推進を目指す。

◆中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

東海市 都市建設部 土木課

中間評価の実施時期

平成28年3月

公表の方法

縦覧及び、ホームページ掲載

参考資料

◆定量的指標

成果目標	当初現況値	中間目標値	最終目標値
【安全】歩道の設置が不十分だと思う人の割合	71%	65%	61%
【安心】地震発生時のライフラインを確保するための安全対策の割合	27%	34%	39%
【維持】修繕の緊急度の高い市道の修繕実施路線の割合	20%	60%	100%

【基幹事業】

事業名:(他)新屋敷3号線

工事概要:歩道設置 L=93m

事業箇所:東海市名和町一番割中地内

事業主体:東海市

事業効果:通学路の緊急合同点検により対策が必要な路線について、歩道整備を行い安全対策が図られた。



【基幹事業】

事業名:(1)平子7号線

工事概要:舗装修繕 L=440m

事業箇所:東海市加木屋町平子始め2地内

事業主体:東海市

事業効果:損傷が激しい舗装を修繕することで、安全で快適な生活道路の整備が図られた。



参考図面

